

3/30 表示マークを交付



3月30日（月）、消防本部にて、ラグナガーデンホテル（内田和也代表取締役社長）へ、防火対象物適合の認定証およびプレートが交付されました。本制度は平成26年4月から始まった制度で、ホテル・旅館等の防火・防災管理上の基準に適合するホテルを消防機関が認定するものです。

4/4 西普天間住宅地区が返還



4月4日（土）、キャンプ瑞慶覧内、西普天間住宅地区（約51ha）の返還式典が同所で行われました。同地区の跡地利用について佐喜眞市長は「地権者、市民等が返還されてよかったと思うまちを目指し、将来の普天間基地の跡地利用のモデルケースとして取り組んでいく」と語りました。

4/11 市道大山7号が開通



4月11日（土）、市道大山7号（愛称：ハルヨイ橋）の開通式が、現地にて行われました。国道58号と宜野湾パイパスとを東西につなぐ橋が完成したことで、周辺住民の利便性の向上や、交通渋滞の緩和も期待されます。当日は、開通のテープカットを行った後、大山小学校の生徒や来場者が、徒歩で橋の渡り初めを行いました。

消防に新車両



市消防で、小型動力ポンプ付水槽車が、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して更新配備されました。新型車は機動性とコンパクト性が大幅に向上したため、旧型車では入れなかった住宅地域や狭い道路でも小回りの利く機動性の高い車両として活躍できます。また、車両側面の給水口に給水装置を取り付けることによって、非常災害時は給水車としても活躍できます。

4月4日（土）、キャンプ瑞慶覧内、西普天間住宅地区（約51ha）の返還式典が同所で行われました。同地区の跡地利用について佐喜眞市長は「地権者、市民等が返還されてよかったと思うまちを目指し、将来の普天間基地の跡地利用のモデルケースとして取り組んでいく」と語りました。

市では国際医療拠点を核としたまちづくりを目指し、地権者、国、県と連携し取り組んでいきます。

※「ハルヨイ橋」の由来

- ・ 大山大綱引きでの「ハルヨイ」という独特の掛け声
- ・ 橋から見渡せる田芋の「畑（＝方言で“ハル”）の風景が“良い”という2つの意味がかかっています。



4/3



お悩みや法律トラブルなどはお相談ください

市民生活課にて行っている無料法律相談の弁護士として、昨年度に引き続き、島田考人弁護士、村上尚子弁護士、松田朝徳弁護士が委嘱されました。村上弁護士は毎月第1火曜日、松田弁護士は毎月第3・4水曜日、島田弁護士は毎週金曜日を担当します。相談希望の方は事前予約が必要です。市民生活課（内線438）までお問い合わせください。

4/2

市顧問弁護士に野崎聖子氏



4月2日（木）、平成27年度の宜野湾市顧問弁護士として、うむやす法律事務所の野崎聖子弁護士へ委嘱状が交付されました。野崎氏は顧問弁護士として4年目になり、引き続き市のサポート役をお願いします。

3/31

じのーんキッズ安心ネット



3月31日（火）、宜野湾市要保護児童対策地域協議会（じのーんキッズ安心ネット）ロゴデザインの表彰式が行われました。最優秀賞に選ばれた山川誠太さんの作品には、「子どもの笑顔を守る」という思いから、カタカナの「マモル」で笑顔の子どもが描かれています。

新水道局長に和田敬悟さんが就任



4月1日付けで、元企画部長の和田敬悟さんが水道局長に就任しました。和田新局長は「今後とも市民の皆様のご理解、ご協力をたまわり、安定的に水を供給できるよう水道事業の健全化、市民福祉の向上に努めてまいります」と就任にあたっての抱負を語りました。

4/13

大山地区に自主防災組織発足



大山地区に自主防災組織が発足し、大山区自治会の又吉亮自治会長に対し、佐喜眞市長から認定証が授与されました。市内の自主防災組織として6番目の発足となります。地域防災力の維持・向上のため避難訓練などに取り組み、万が一の被災時に備えます。